

[一般社団法人日本漢方交流会 企画部 主催]

第24回 初学者のための漢方運用講座 ＜息切れ・呼吸困難の漢方療法＞

日時：平成29年2月26日（日）

内容：10：30～12：00	舌診と腹診	太田順康
12：00～13：00	昼食	
13：00～14：40	漢方の方剤学—人参剤と類方—	高橋宏和
14：40～15：00	休憩	
15：00～16：40	息切れ・呼吸困難に対する漢方処方of店頭応用	太田順康
16：40～16：50	質疑応答	

全講座受講で漢方薬・生薬認定薬剤師 必須研修3単位取得できます。

場所：大阪コロナホテル（JR新大阪駅より徒歩約2分）

大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-21 TEL：06-6322-8697

参加費：一般 5000円 日本漢方交流会 会員 2000円 学生 1000円

申込み方法：

郵便振替用紙に、参加費・お弁当代（注文する人は¥1500）を明記し、
氏名・職業・連絡先（〒住所、電話・FAX）もお書き添えの上、お振込み下さい。

郵便振替

口座加入者名：一般社団法人 日本漢方交流会

口座番号：00220-6-103289

問い合わせ先：一般社団法人日本漢方交流会 企画部

細野靖之 E-mail: y.hosono@hosonokanpo.com

申込み締切り：平成29年2月17日（金）＜当日参加も可能です＞

講演要旨：

「舌診と腹診」太田順康先生

漢方の診察法の四診（望・聞・問・切）の中の望診に属する舌診と切診に属する腹診について、解説します。舌診は薬方選定の上で重要な役割をしています。

なるべく映像を駆使して店頭での舌診の考えかたを解説します。

腹診は日本漢方で独特の発展をして、薬方と直結した腹診が確立されてきました。（腹證奇覧、腹證奇覧翼）ただ薬局店頭では実践が難しいものがあります。薬局での臨床応用はどうしたら良いのかを、永年の経験から導き出したものをご披露いたします。

「息切れと呼吸困難に対する漢方処方of店頭応用」

単純に息切れ・呼吸困難と言っても様々な病気で起こり、背景にあるその病人さんの漢方的体質・状態をみて処方の選定が行われます。

漢方的には気の変動によるものが一番多いのですが、水によるもの、血証によるもの、上衝性のもの、虚労によるもの、など様々です。また漢方的表現も喘（あえぐ）少気（呼吸が浅くなる）短気（呼吸が短く促迫する）倚息（椅子などに寄り掛かって呼吸する）胸満（胸が詰まったようで息がし難い）不得息（息ができない）など様々です。

息切れ・呼吸困難に繁用される漢方処方の応用を、漢方的分類を基に、問診、望診、聞診上の留意点を中心にお話します。